



中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

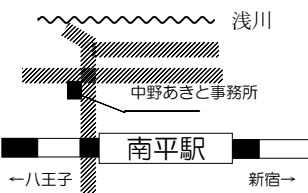
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏

2018年
5月発行

第187

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



どうなっている?…「ごみ処理広域化」問題 中野あきと市議に聞く

■「ごみ減量推進市民会議」が設置されるということですが?

そうですね。三市の市民はそっちのけで、ここまで強引に進めておいて、いまさらという心情にもなるかと思いますが、とにかく三市の市民で共同処理の問題も含め議論できる場がつくられることは重要だと思います。タブーなく真面目に議論できる場にする、アリのバイ的な場にさせないことが大切です。

■「ごみ減量推進市民会議」…どうも気分も生まれる感じが?

「日野市民の間では、他市のゴミの処理を引き受けることへの疑問が解消されたとはいえず、反対運動が続いている」と東京新聞が書いていますが、諦めずに理不尽なことに対しておかしいと声を上げることは、社会をよりよいものにしていく上でも大切なことです。

何より、周辺住民をはじめ市民の理解を置き去りにして強引に進めた結果、日野市は抜きがたい矛盾と困難を抱え込んでいっていると言えます。強引に市長が決断した5年前当時の広報で日野市は、「建設協議会を設置して公害防止協定や操業協定を結ぶことや運営協議会をつくって操業状況の報告・意見交換を行う」としていましたが、現在に至るも一切つくれずにいます。市民の声を無視して強引に進め

4月20日に日野、小金井、国分寺の三市長が集まって「ごみ減量推進市民会議」を設置する協定を結んだことが新聞各紙で報道されました。この報道を受け市民のみなさんからは、「ごみ問題はいつだってどうなっているのか」「このまま進んでいくのか」などの問い合わせも…そこで中野あきと市議に聞いてみました。



9条改憲に反対する
憲法集会に6万人
▲一斉にプラスチックを掲げる
日野市からの参加者

江東区有明防災公園で行われた憲法集会には、日野市からも昨年の倍の150人が参加。この日発表された3000万人署名は、4月末現在、全国で1350万筆、日野では8000筆。市内で運動を推進する「市民アクションひの連絡会」は、5月中旬に2万の署名を達成することを呼びかけています。

市民の不信を招いてしまった結果と言えます。それだけではありません。市民ばかりか、法律も無視してごみの搬入路を強引につくろうとし、市民からその違法性を裁判に訴えられる事態になっているわけです。またこの搬入路は、一部国道の高架下を通る計画になっているわけですが、道路法等の規定から、ゴミ収集車が通行することについての許可も出ていない状況なのです。

数を頼んだ強行という政治手法は、決して解決へ導かない、かえって市民の不信と怒りを広げ、さらなる困難をつくるだけだということ、もう市は気づいていいはずなんです。(2面に続く)

短信

葬れ安倍9条改憲!。4月15日、市民会館で行われた「市民のつどい」は、600人の熱気で成功しました。月改まり5月。憲法を守れの言葉から…▼せめて、せめてです。せめて吾々が平和憲法を守り抜かなければ、愚かな戦争で死んだ人たちの魂は安らかに眠れません。それが誓いであり、手向けです(木下恵介)▼戦争をしないという憲法を守れなかったら、もう全世界は共倒れです。…それを大声で言えなくなってしまう今の日本の異常だと思います。こういうことを言う仕事はなくなる、自粛しなくてはいいけない。すでに戦争の二オイがするでしょう?(渡辺えり)▼毎日が空襲。機銃掃射にも遭いました。上から見ると面白いのか動くものを狙い撃つて来る。でも、小学生の私は必死で走り、やっとの思いで茶畑に逃げました。…戦争が終わり電灯を覆う黒い布を取った時の明るさは今でも忘れません(「つどい」での発言)▼発言者は更に「戦争だけはイヤ…の言葉で友達は友達になれる」という亡きお母さんの言葉を紹介。「力を合わせて戦争はイヤの思いを署名に託し、大きく束ねて安倍首相に突き付けましょう」と呼びかけました▼「戦争だけはイヤ」…灯りが戻った街で誰もが誓った思い。70年余つづく平和の原点です。(K)

(1面からの続き)

■今の時点で市長に訴えた じいじに。

市長は、5年前に広域化へかじを切ると判断した時、ここまで様々な問題を抱え込むとは思わなかったのだと思います。搬入路問題に、土壌汚染問題に、駐車場有料化問題と、何かことを前に進めようとするたびに、まさに次々に問題が出てくるわけですから。

進むも地獄、戻るも地獄、だったら前に進むしかない、ひょっとしたらそんな心境なのかも知れません。でも、私は、こんな時は、やっぱり原点に立ち戻ることを呼びかけたいと思います。行政には守るべき大事な一般原則があります。一つは、法律による行政という原則、そして信義誠実の原則(信義則)です。この法による行政も、市民の信頼に基づく行政も、置き去りにしてここまでできてしまっている。この大事な原則を取り戻すために、掛け違えたボタンを掛け直す、市民の参加と合意で一から再出発することを心から求めたいと思います。

私自身も、住民のみなさんと力を合わせて運動を続け、市政で取り組む決意です。



3000万人署名をすすめている中野あきと事務所では、南平地域で事前にお願いのチラシと署名用紙を配り、後日訪問して署名を集めています。ご賛同頂ける方は、ぜひ、ご協力下さい(お問い合わせは中野あきと市議事務所まで)。



南平の訪問活動スナップ

安倍9条改憲NO! 3千万人の声を国会へ!

3月15日、東京都は日野市内において土砂災害警戒区域(イエローゾーン)を465カ所、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)を388カ所、合計853カ所の指定を行いました。指定の目的は、主にソフト対策の充実であり、土砂災害防止工事などのハード対策を促進するものではありません。警戒区域においては警戒避難体制の整備などが行なわれ、特別警戒区

域においては開発行為が制限されたり、移転の勧告や移転に伴う融資の特例の制度が受けられるという中身になっています。指定に先立って、調査結果が地域説明会の中で公表されましたが、参加した住民の皆さんからは、様々な疑問や不安、戸惑いの声が上がりました。日野市は、市民の疑問や要望を踏まえ、対応方針を検討することになっています。しかし、指

丘陵地の土砂災害問題 市内853カ所……都が災害警戒地域を指定

定地域の住民が安心して住み続けるためには、対策の柱に土砂災害防止工事などハード対策を必要です。ぜひ、ご意見ご要望をお聞かせください。本格的な調査・研究も行いながら住民の皆さんが安心でき、納得のいく対策を提案し、実現させていきたいと考えています。(中野あきと)



<第1回 南平街ウォッチング>

住みよい街づくりのため、中野あきと市議事務所では、街ウォッチングを行います。街の中で改善が必要な所、危険な箇所などを調査します。皆さんもぜひ、ご参加を。調査結果は次号でお知らせします。

5月16日(水) 午後1時30分

日本共産党・中野あきと市議事務所出発
(南平駅北口スグ 南平6丁目)

《生活相談の現場から》

よく「空き家」のご近所の方から、防犯上の心配や、公道まで出てしまっている庭木の問題などで相談を受けることがあります。

日野市では、「日野市空き住宅等の適切な管理及び活用に関する条例」を制定しています。第5条で「空き家等の所有者等は、自らの空き家等の状況を定期的に把握するとともに、…自らの責任において当該空き家等を適切に管理しなければならない」と所有者の責務を明記。第9条の2で「市長は、空き家等が適切に管理されていないことを確認したときは、…当該所有者等が空き家等を適切に管理できるように、当該空き家等の状況の伝達及び助言に努めなければならない」とし、さらに3で「市長は、前項の助言をしてもなお、当該所有者等が適切な管理をしない場合は、…当該所有者等に対し必要な措置をとるよう指導するものとする」と定めています。

ご相談があった場合は、この条例を踏まえて市として所有者の把握、適正な管理へ向けた助言や指導を行い、解決を図るよう求めています(担当窓口は都市計画課です)。

《2018年 6月の無料法律相談》

市役所6階共産党控室 午後1時~3時 6月14日(木)

※予約が必要です。中野あきと事務所 ☎042-599-3350